

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
医療簿記Ⅱ Medical Bookkeeping II		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(医療事務専用クラス)	
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
医療簿記Ⅰ				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
医療簿記Ⅰ				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
山崎好一	非常勤講師室	授業内で指示する		授業中に指示します
授業の概要				
会計上の取引と仕訳、さらに決算修正事項を学び、簿記一巡を理解し、決算書の作成及びその意味を理解する。講座は日商簿記3級の範囲の後半を学習し、日商簿記3級検定試験の取得を目的とする。検定資格取得を目指す受講者は、本講座の授業と合わせて相当数の時間を割いて自習をしなければならない。検定試験の指導は、後日、連絡する。				
授業の目標				
①種々の取引の意味と簿記一巡を理解し、実務に対応できるようにする ②決算修正と精算表の作成ができるようになる ③決算書の作成と当期純利益の算出ができるようになる ④日商簿記3級が合格できるようにする				
授業の方法				
演習 テキストに沿った講義と問題演習				
学習の成果(学習成果)				
①会計上の取引と仕訳をすることができる ②決算書の意味を把握し作成することができる ③会計的思考を身に付けることができる ④医療会計の勘定科目の仕分けすることができる				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	シラバスの説明、概要説明、簿記一巡の流れ			
第2回目	現金、当座預金			
第3回目	商品売買			
第4回目	小口現金			
第5回目	手形Ⅰ			
第6回目	手形Ⅱ			

第7回目	その他取引 I	
第8回目	その他取引 II、小テスト	
第9回目	試算表の作成	
第10回目	決算の手続き I	
第11回目	決算の手続き II	
第12回目	決算の手続き III	
第13回目	決算の手続き IV	
第14回目	決算の手引き V	
第15回目	決算の手続き VIおよび医療会計の科目体系の説明	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	最高点(S)としては、無遅刻・無欠席で、積極的に授業に参加すること
レポート		
調査報告書		
小テスト	10%	授業の進捗に合わせて確認テストを行い、理解度に応じて評価する
試験	60%	授業の到達目標に掲げた項目の理解度に応じて評価する
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
合格テキスト日商簿記3級（TAC出版） 合格トレーニング日商簿記3級（TAC出版）		
履修上の留意点・ルール		
①電卓と筆記用具は必ず持参する ②グループワークに積極的に参加する ③分かりにくい点があれば積極的に質問する ④携帯電話の使用（送受信・その他の使用）は禁止（緊急の場合は講師に申し出ること）		